

せいの看護学会 News Letter

Contents ◆理事長挨拶 ◆第13回せいの看護学会学術集会を終えて
◆学会の様子と総会報告

◆新理事長挨拶

せいの看護学会理事長 大石ふみ子

2022年9月、新理事、新理事長が就任しました。

春の日差しがきらめく頃、会員のみなさまにはますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

せいの看護学会は、2010年に設立され、2011年3月の第1回からこれまでに13回の学術集会を開催し、最新号まで通算26冊の学会誌を刊行して参りました。その間、理事長としてご尽力頂きました藤本栄子先生の後任として、2022年10月より理事長を拝命いたしました大石です。どうぞよろしくお願いいたします。

聖隷学園は、長年にわたって聖隷福祉事業団をはじめとした多くの施設に看護職を送り出して参りました。それらを中心とし、さらに静岡県西部から全国の縁のある人びとをつなぎ、活動する一つの場として、本学会は活動を続けて参りました。中心事業である学術集会の開催、学会誌発行に加え、約10年間で培われた豊かなつながりを基盤に、今後皆様とともにいっそうの発展をめざして参ります。

今後の取り組むべき課題としましては、

- ・学術集会参加者・会員数の増加：地域の看護職の最初の研究実践と発表の場として機能すべく参加を募る
- ・時代に即した活動の調整：ホームページの充実を行い、webの活用を進める
- ・教育と臨床の協働を促進する：学会会員のみなさまの研究活動をサポートするシステム構築に取り組み、みなさまを巻き込んだ研究を行い、その成果の活用を促進する

等がございます。

これらについては、今後理事会、総会においてしっかり検討し、会員のみなさまへの還元ができる学会運営を心がけて参りたいと存じます。今後ともご支援、ご指導のほど、宜しくお願い申し上げます。



◆第13回せいの看護学会学術集会

学術集会会長 松下君代（聖隷三方原病院 総看護部長）

メインテーマ：地域社会を守る看護職の挑戦～コロナ禍でみせた看護の力～

日時：2022年9月10日（土）10:00～16:00 場所：聖隷クリストファー大学

会長講演「新型コロナウイルス感染症に立ち向かう看護の力」



学術集会の企画スタート時は、大きく出過ぎだろうかと思ったメインテーマも、当日にはしっかり感じられるものになりました。多くの看護職が集まる会場で、皆さまに感謝の言葉を伝えられたこと、自施設のスタッフの頑張りにお礼が伝えられたこと、ありがたく思いました。

講演では、感染者数の推移、看護管理者としての舵取り、コロナ対応でkeyとなった看護師達からのインタビュー結果、実際の臨床現場を写真でみながらの振り返り、コロナ禍で大事にしてきたこと、医療の変革についてお話ししました。皆さまと一緒に一度立ち止まって、自分達の看護実践や看護管理の振り返りをする機会をいただいた様に思います。

☆シンポジウム 「新型コロナウイルス感染症対策と看護の実践」

シンポジスト 渡邊 昌子（静岡県看護協会会長）
 杉山 由香（浜松医療センター 副院長兼看護部長）
 颯田千絵子（聖隷三方原病院 感染管理認定看護師）
 木村 敏子（いなさ愛光園 看護責任者）
 座 長 松下 君代（聖隷三方原病院 総看護部長）



シンポジウムでは、看護職のそれぞれの役割や機能の異なる施設からリアルな話を聴くことができました。職能団体として何を支援してくれていたのか、看護管理の難しさとスタッフの不安・恐怖、その中での成長、感染管理認定看護師の地域からのニーズの高さと専門性の発揮、そして高齢者施設で看護師が医療の専門職として、今ある資源の中で最大限のケアをしようとリーダーシップを発揮する様子など、大変興味深い話ばかりで、意見交換も盛り上がりました。

☆交流集会1 「看護師の特定行為 ～特定行為において直面している課題を解決～」

企画者 村松武明（聖隷三方原病院 救急外来課長 クリティカルケア認定看護師）
 林 尚三（富士病院 看護師長）
 中西祥子（西山病院グループ 看護師長）
 鈴木幸子（聖隷三方原病院 皮膚・排泄ケア認定看護師）



特定行為を指導している立場、慢性期施設において実践している立場、急性期施設において実践している立場の3名が話題提供を行いました。それぞれの施設での工夫点や課題などを報告して参加者との交流を図ることにより、参加者の方が今後自施設で実践していく上での糸口を見いだすことに繋がったと思っています。また、インターネットコンテンツ（スマートフォンを使用し、リアルタイムに匿名による意見が反映されるコンテンツ）を活用しながら参加者と交流するといった試みにも挑戦しました。

☆交流集会2 「感染管理と患者看護 ～コロナ禍の看護において大切にしていたこと～」

企画者 岡村奈緒美（聖隷浜松病院 総看護部長）
 石郷岡典子（浜松北病院 看護部長）
 山口美津子（訪問看護ステーション住吉 所長）
 佐宗 尚（聖隷浜松病院 救命救急センター 看護係長）



地域包括ケアシステムの中で異なる役割を担っている3名がコロナ禍の厳しい状況下でもしなやかに適応し職員一丸となって乗り越えた事例を発表しました。急性期病院は「託された命を明日につなぐ」、療養型病院は「ピンチがチャンスに！クラスター発生時のスタッフの底力を信じて」、訪問看護ステーションは「スタッフ、ご利用者が安心して過ごすことを目指して」といったテーマで、大変興味深い内容であったと思います。参加者との交流で、大切にしていたことを振り返り、実践したことを共有する機会となりました。

☆交流集会3 「コロナ禍の地域連携 ～ウィズコロナ・アフターコロナに対応した地域連携について考える～」

企画者 尾田優美子（訪問看護ステーション細江 所長）
 小野 五月（聖隷三方原病院 看護相談室課長）
 藤野有美子（訪問看護ステーション細江）
 澤田石理恵（聖隷ケアプランセンター細江）
 齋藤花菜子（聖隷三方原病院 脳卒中リハビリテーション認定看護師）



コロナ禍においても、患者さんの思い、家族の意向を尊重すること、患者さんと家族が求める医療・看護・介護を提供するための地域関係機関と連携することを大切にしてきました。そのため、訪問看護ステーション看護師、介護支援専門員（ケアマネージャー）、脳卒中リハビリテーション認定看護師、家族支援専門看護師が、関係機関と連携しながら在宅療養の継続を支援した事例、関係機関との連携で創意工夫したことを報告し、ウィズコロナ・アフターコロナに対応した地域連携について考えを深めることができました。

☆交流集会4 「基礎教育と継続教育 ～with コロナ時代の看護師教育について考える～」

企画者 小出扶美子（聖隷クリストファー大学 准教授）
 北堀 昌代（聖隷三方原病院 教育専従 看護次長）
 氏原 恵子（聖隷クリストファー大学 成人看護学 急性期看護学実習科目責任者）
 乾 友紀（聖隷クリストファー大学 成人看護学 聖隷三方原病院臨床指導教員）
 中村亜砂美（聖隷三方原病院 教育専任 看護係長）



看護師の育成には、大学側と臨床側との連携や協力が欠かせません。そこで、基礎教育側の大学教員が「コロナ禍における急性期看護学実習」、継続教育側の病院の看護師が「コロナ禍での新人教育」「コロナ禍での看護師育成」について話題提供しました。コロナ禍でのお互いの教育や課題、今後の連携や協力についてディスカッションをすることができました。また、2022年の卒業生が実際の臨地実習での学びから卒業後の課題についてを報告してくれ、大変充実した集会となりました。

☆演題発表（口演 15 演題、示説 13 演題）



◆総会

今年度の総会は新型コロナウイルス感染症の拡大から委任状または議決書での開催となりました。2022年10月24日12時を締切にしておりました、書面決議につきまして74名の審議事項の議決可のご連絡を受け取っております。2022年8月5日現在の会員数241名で、会則第五章第22条3の、「総会は会員の5分の1以上の出席または委任状で成立とする」ことから、規定数を超過しており議案はすべて承認されました。

【企画委員】

第13回せいい看護学会学術集会は、3年ぶりの対面での開催となりました。コロナ禍での開催でしたので、参加者は集まるのか・・・運営はうまくできるのか・・・など、いろいろな不安はありましたが、当日の参加者の多さ、参加して下さった皆様の活気・笑顔・フィードバックなどから、学術集会は大成功であったと感じております。本学術集会は静岡県西部の保健医療施設の皆さまのご参加が多く、日々交流のある身近な仲間と看護・教育・研究を語り合えるという特徴があります。身近な仲間と実践や経験を共有し語り合うこと、学会の共同で学術集会を作り上げていくことは、それなりの苦労もありますが何とも言いえない充実感も得られます。今後も学術集会が様々な形で発展していくことを願っております。

◆学会誌編集委員会

投稿をお待ちしています。

◆広報委員会

せいい看護学会を広くお知らせするために News Letter No.6 を発行しました。

◆事務局から会費納入のお知らせ

年会費は5000円です。過去の納入がお済みでない方は、本年度分と合わせて納入をお願いします。

入会希望の方はせいい看護学会ホームページをご参照ください。

<http://www.seirei-sons.com>

◆第14回学術集会のお知らせ

開催日：2023年9月16日（土）

学術集会会長：春日 三千代氏（袋井市立聖隷袋井市民病院 看護部長）

テーマ：『異業種コラボレーションと私たちの看護の未来』

場所：聖隷クリストファー大学

<演題募集>

募集期間：2023年3月22日（水）～5月15日（月）

応募先：ssns2023@seirei.ac.jp

応募資格：せいい看護学会会員であること

（非会員は演題応募までに入会をお願いします）